

28P1-am225

キウイフルーツの経口投与による免疫賦活作用

○山崎 正利¹, 岩澤 晴代¹(¹帝京大薬)

【目的】キウイフルーツに抗酸化作用があることは知られている。我々は、このキウイフルーツが免疫賦活作用を有し、この作用には品種によって差があることを報告してきた。今回はこの免疫賦活作用を、キウイフルーツ抽出上清の経口投与によりサイトカイン誘導能を指標に検討した。

【方法】グリーンキウイとゴールドキウイの2種を用い、抽出上清をICR雄マウスに経口投与した。10日後、腹腔細胞を取り出し、TNF- とIL-12誘導能についてELISA法により測定した。

【結果および考察】グリーンキウイ、ゴールドキウイ投与群ともに、TNF- およびIL-12誘導能がコントロールよりも上昇しており、品種によって少し強さが異なっていた。以上のことから、これまでに報告してきた腹腔内投与による免疫賦活作用が、キウイフルーツの経口摂取によっても実際に起こることが判明した。またこの作用には品種により差もでることが明らかになった。キウイフルーツを食することによって、免疫防御作用を上げることができると考えられた。